

SPECIFICATION

TITLE OF THE INVENTION

METHOD AND APPARATUS FOR USE IN IMAGE FORMING APPARATUS

BACKGROUND OF THE INVENTION

この発明は、可視化材であるトナーにより静電像を現像する現像装置を含み、対象物もしくは出力信号に対応する画像を形成する画像形成装置および画像形成方法に関する。

電子写真プロセスを用いた画像形成装置に組み込まれる現像装置（現像方式）としては、現像剤として、キャリアとトナーを用いる２成分系と、トナーのみを用いる１成分系とが知られている。

２成分系現像方式は、トナーをキャリア粒子に付着させて現像スリーブの外周に運び、ドクターブレードにより所定厚さの現像剤層をスリーブの外周に形成し、その現像剤層を感光体ドラム表面に接触させて、予め感光体ドラムに形成されている静電潜像のクーロン力によりトナーをキャリアから分離して静電潜像に付着させて、静電潜像を現像するものである。

１成分系現像方式は、現像スリーブの外周に、トナーのみからなる薄層を形成し、感光体ドラムと現像スリーブとを所定の間隔で対向（または接触）させて、感光体ドラムに形成されている静電潜像にトナーを選択的に供給して静電潜像を現像するものである。

なお、今日、現像スリーブと感光体ドラムとが対向される現像領域における事象は１成分系現像方式に準じるものの、少量の磁性キャリアを用いる疑似２成分現像方式も提案されている。

疑似２成分現像方式は、少量のキャリア（磁性体）とトナーに磁性体粉を所定比率で含有させた磁性トナーとを現像剤として用いる現像方式であり、所定量のキャリアにより現像スリーブの周囲にキャリアの薄層を形成し、キャリアの薄層を利用して磁性トナーを感光体ドラムと現像スリーブとが対向する現像領域に、効率よく磁性トナーを搬送する方式である。

疑似 2 成分現像方式においては、今日、トナーの帯電特性の立ち上がりを向上させるため、トナーに内添する（トナーに含有させる）磁性体粉の他に、所定の量の磁性体粉を外添した（トナー粒子の他に磁性体粉を加えた）トナーが広く利用されている。しかしながら、磁性体粉を外添したトナーを用いて画像形成工程（印字出力）をくり返すと、現像スリーブとドクターブレード（トナー層厚規制部材）との間での加圧、トナー攪拌機構による加圧および摩擦、and/or トナー相互の摩擦等に代表されるストレスにより、外添された磁性体粉がトナー表面から離脱する。トナー表面から離脱した磁性体粉は、現像スリーブ表面あるいは現像装置内の特定の位置に残留し、非画像部（白地部）に、白地かぶり（地肌かぶり）を生じさせる問題がある。

BRIEF SUMMARY OF THE INVENTION

この発明の目的は、画像形成回数が増加しても、非画像部にかぶりを生じない画像形成装置および作像方法を提供するものである。

この発明は、潜像に可視化剤を供給して画像を形成する装置 **comprising** :

可視化剤、磁性体粉が所定比率で混入されている樹脂材料であり、磁性体粉が外表面にも付着されている；

記録媒体搬送機構、潜像保持体に選択的に付着された上記可視化剤を保持する記録媒体を搬送可能；

第 1 の電圧供給装置、潜像保持体を所定の電位に帯電させるための第 1 の電圧を出力可能、かつ潜像保持体を所定の電位に帯電させるための上記第 1 の電圧と異なる第 2 の電圧を出力可能；

第 2 の電圧供給装置、前記可視化剤が潜像保持体に選択的に付着するための条件として上記第 1 の電圧および上記第 2 の電圧のいずれとも大ききの異なる第 3 の電圧を出力可能； and

回収装置、上記可視化剤から離脱した上記磁性体粉を、前記第 2 の電圧供給装置により提供される上記第 3 の電圧と前記第 1 の電圧供給装置により提供される上記第 2 の電圧との電位差により上記潜像保持体に付着された前記可視化剤から離脱した上記磁性体粉を回収可能、を提供するものである。

また、この発明は、画像形成装置 comprising:

感光体、所定の電位に帯電された状態で選択的に光が照射されることで、光が照射された露光部と光が照射されていない未露光部との電位差を潜像として保持する；

帯電装置、前記感光体表面に所定の表面電位を付与することのできる第1の電圧と第1の電圧とは異なる第2の電圧を出力可能；

露光装置、前記帯電装置により上記所定の表面電位が与えられた前記感光体に画像情報に対応して強度が変化される光を照射する；

現像装置、前記感光体に所定間隔で対向されたスリーブを有し、このスリーブを介して、磁性体粉が所定比率で混入されている樹脂材料であり磁性体粉が外表面にも付着されているトナーを、前記感光体の表面に搬送して前記感光体に保持されている上記潜像を現像する；

記録媒体搬送機構、前記感光体の上記潜像に前記現像装置から提供された上記トナーを非静電的に保持可能な記録媒体を前記感光体に向けて搬送可能；

転写装置、前記感光体上の上記潜像に前記現像装置から提供された上記トナーを前記記録媒体搬送機構により前記感光体に向けて搬送された上記記録媒体に、静電的に引き寄せる；

記録媒体排出機構、前記転写装置により前記感光体から上記トナーが静電的に引き寄せられた上記記録媒体を所定の位置に向けて搬送する；

現像バイアス電圧供給装置、前記帯電装置から前記感光体に印加される上記第1の電圧に対して所定の電位差となる第3の電圧を前記現像装置の上記スリーブに提供可能；

電圧制御回路、前記転写装置により前記記録媒体搬送機構を介して搬送されている上記記録媒体への上記トナーの静電的な引き寄せが行われぬ所定時間の間、前記現像バイアス電圧供給装置から前記現像装置の上記スリーブに提供される上記第3の電圧と上記第2の電圧との間の電位差が、上記第1の電圧と上記第3の電圧との電位差よりも大きくなるよう、前記帯電装置から前記感光体に付与される電圧を上記第1の電圧から上記第2の電圧に変更可能； a n d

回収装置、上記トナーから離脱して前記感光体上に存在する上記磁性体粉を、回収可能、を提供するものである。

さらに、この発明は、潜像に可視化剤を供給して画像を形成する画像形成方法、comprising :

光半導体に所定の電位を与えて画像に対応する光を選択的に照射して潜像を形成し；

所定の現像バイアス電圧を与えながら、現像装置により光半導体に形成された潜像に選択的にトナーを吸着させ； a n d

記録媒体へのトナーの転写時以外の、記録媒体が光半導体と転写装置との間の転写領域に存在しない所定の時間の間、現像バイアス電圧と光半導体に与えられる電位との間の電位差よりも電位差が大きくなるように、光半導体を与える電位を増大して、光半導体に付着しているトナーに一体的に付加されている磁性体粉が離脱した磁性体粉を所定の回収部に回収する、を提供するものである。

Additional objects and advantages of the invention will be set forth in the description which follows, and in part will be obvious from the description, or may be learned by practice of the invention. The objects and advantages of the invention may be realized and obtained by means of the instrumentalities and combinations particularly pointed out hereinafter.

BRIEF DESCRIPTION OF THE SEVERAL VIEWS OF THE DRAWING

The accompanying drawings, which are incorporated in and constitute a part of the specification, illustrate embodiments of the invention, and together with the general description given above and the detailed description of the embodiments given below, serve to explain the principles of the invention.

FIG. 1は、この発明の実施の形態が適用可能な画像形成装置の全体の構成の一例を説明する概略図：

FIG. 2は、FIG. 1に示した画像形成装置に組み込まれる現像装置の一
例を説明する概略図：

FIG. 3は、FIG. 1に示した画像形成装置に組み込まれる感光体ドラム（作像ユニット）およびFIG. 2に示した現像装置および感光体ドラムの回りに設けられる画像形成のための機構および装置の配置および電気的な接続の一例を説明する概略図：

FIG. 4Aは、FIGs. 1 and 2に示した画像形成装置を用いて画像を形成する際の「現像スリーブと感光体ドラムの間の電位差」と「かぶり濃度」との関係の一例を示すグラフ：

FIGs. 4B and 4Cは、FIG. 4Aで説明される「かぶり濃度」の大きさが許容値を超える条件で、感光体ドラム表面へ付着する付着物の状態を示す概略図：

FIG. 5は、FIGs. 1 and 3に示した画像形成装置により画像を形成する際の帯電装置による感光体ドラムへの帯電電圧の印加のタイミングの一例を説明するタイミングチャート：and

FIG. 6は、この発明の作像方法を適用した場合と比較のための周知の作像方法とによる「かぶり濃度の変化」の程度の差の一例を示すグラフ。

DETAILED DESCRIPTION OF THE INVENTION

以下、図面を用いて、この発明の実施の形態である現像方式が適用される画像形成装置について詳細に説明する。

FIG. 1に示すように、デジタル複写装置101は、複写対象物である書籍や任意枚数のシート状の原稿の画像情報を、光の明暗として読み取って画像信号を生成するスキャナ102およびスキャナ102または外部から供給される画像信号に対応する画像を形成する画像形成部103からなる。なお、スキャナ102には、複写対象物がシート状である場合に、スキャナ102による画像の読み取り動作と連動して、順次シート状の複写対象物を入れ換える自動原稿送り装置

(ADF) 104 が一体的に設けられている。

画像形成部 103 は、スキャナ 102 または外部装置から供給される画像情報に対応して強度が連続して変化されるレーザビームを照射する露光装置 105、所定の電位に帯電可能で、選択的に光が照射されることで光が照射された部分の電位の変化を潜像として保持可能な光半導体であり、露光装置 105 からレーザビームが照射されることにより潜像が形成される感光体ドラム 106a と感光体ドラム 106a に所定の電位を与える帯電装置 106b および感光体ドラム 106a に形成されたトナー像を転写する転写装置 106c からなる作像ユニット 106、感光体ドラム 106a に形成された潜像にトナー T を供給して現像する現像装置 107、転写装置 106c により以下に説明する搬送路 111 を経由して供給される用紙 P に転写された感光体ドラム 106a 上のトナー像を用紙 P に定着する定着装置 108、感光体ドラム 106a の表面に残った電荷を消去する除電装置 106d (作像ユニット 106 と一体化されている)、および感光体ドラム 106a に残ったトナーや感光体 106a により搬送されている用紙 P の紙粉等を回収するクリーナ 106e (作像ユニット 106 と一体化されている) 等の多くの要素機構からなる。

なお、感光体ドラム 106a は、例えば有機系感光体を円筒状の基材の表面に所定厚さに形成した有機感光体 (OPC) 等が利用可能である。また、除電装置 106d は、周知の光除電装置 (ランプ) や感光体ドラム 106a が保持している電荷を中和する交流帯電装置等が利用可能である。

一方、クリーナ 106e としては、ブラシを感光体ドラム 106a 表面に接触させながらトナーを回収するブラシクリーナあるいはブレードを感光体ドラム 106a 表面に接触させることでトナーを掻き落とすブレードクリーナもしくはその両方を組み合わせた複合型等の周知のクリーナが利用可能である。

FIG. 1 に示した複写装置 101 では、スキャナ 102 または外部装置から画像情報が供給されると、帯電装置 106b により予め所定の電位に帯電された感光体ドラム 106a に、画像情報に応じて強度変調されたレーザビームが露光装置 105 から照射される。

用紙Pに転写されたトナー像は、用紙Pに静電的に吸着された状態で定着装置108に案内され、定着装置108により提供される熱により溶融して、用紙Pに固着される。

このようにして、一連の画像形成動作（1枚の画像出力）が終了する。

ところで、既に説明した通り、現像装置107に利用される現像方式は、疑似2成分方式であるから、現像スリーブ12と感光体ドラム106aとが対向している現像領域においては、キャリアCとトナーTの他に、トナーTに外添された磁性体粉が存在する。

外添される磁性体粉は、トナーTの帯電特性の立ち上がりを向上させるために有益であるが、現像スリーブ12とドクターブレード（トナー層厚さ規制部材）15との間での加圧、トナー攪拌機構（agitator 14）による加圧および摩擦、and/or トナー相互の摩擦等に代表されるストレスにより、外添された磁性体粉がトナー表面から離脱する。

トナー表面から離脱した磁性体粉は、現像スリーブ12表面あるいは現像装置107内の特定の位置に残留し、非画像部（白地部）に白地かぶりを生じさせる問題がある。

白地かぶりは、FIG. 4Aに示すように、現像スリーブと感光体ドラムの間の電位差に支配される。なお、FIG. 4Aから明らかなように、白地かぶりの程度と、現像スリーブと感光体ドラムの間の電位差との間には、領域Aと領域Bの2つの領域が認められる。

1つは、「現像スリーブと感光体ドラムの間の電位差」が50Vよりも少ないとき、すなわち領域Aに顕著に見られる事象であり、FIG. 4Bに示す感光体ドラム106aの表面の拡大図から明らかなように、トナーTそのものが感光体ドラム106a上に残存することによる。

すなわち、現像装置107に付与される現像バイアス電圧 V_B と感光体ドラム106aに提供される表面電位SPとの差が100Vよりも小さくなり、特に50V未満に達した場合に、本来は同極性の電位であるから感光体ドラム106aの非画像部には付着することのないトナーTが感光体ドラム106aに残ったと推測される。

他の1つは、F I G. 4 Cに示す感光体ドラム106aの表面の拡大図から明らかなように、トナー表面から離脱した磁性体粉によるものである。

発生要因としては、トナーから離脱した磁性体粉は、現像領域でさらにトナーと摩擦されて帯電されたとしても、0V近傍の弱い帯電性を示すので、「感光体ドラムと現像スリーブとの間の電位差」が大きくなるにつれて、離脱する磁性体粉が増大する、と考えることが妥当である。

特に、この発明の実施の形態で用いる感光体ドラム106aの表面電位SPと現像バイアス電圧 V_B との関係においては、その差が200Vを越える領域Bにおいて、顕著になる。なお、この発明の実施の形態で用いる感光体ドラム106aの表面電位SPと現像バイアス電圧 V_B との関係においては、「現像スリーブと感光体ドラムの間の電位差」が、例えば600Vを越え、今度はキャリアCが感光体ドラム106aの表面に吸着するという新たな問題が生じる。

ところで、2枚以上の画像出力が指示されたときは、直前の用紙Pと引き続き用紙Pとの間の用紙Pが存在していないインターバル（紙間）および用紙Pが転写領域に搬送されるまでの間および用紙Pが転写領域を通過されて感光体ドラム106aの回転が停止されるまでの間、ならびに1枚のみの画像形成が指示された場合に、用紙Pが転写領域に搬送されるまでの間および用紙Pが転写領域を通過されて感光体ドラム106aの回転が停止されるまでの間は、転写領域において、「現像スリーブと感光体ドラムの間の電位差」が画像形成時の電位差よりも大きく設定されたとしても、画像には影響が生じない。

換言すると、非画像形成時には、「現像スリーブと感光体ドラムの間の電位差」が大きくなるように現像バイアス電圧 V_B および帯電電圧 V_0 あるいはその両者を変化することで、トナーから離脱して感光体ドラム106aに付着した磁性体粉を、感光体ドラム106aに吸着できることになる。

このことを利用して、F I G. 5 Aに示すように、2枚以上の画像出力が指示された場合には、直前の用紙Pと引き続き用紙Pとの間の用紙Pが存在していないインターバル（紙間）および用紙Pが転写領域に搬送されるまでの間と用紙Pが転写領域を通過された後、感光体ドラム106aの回転が停止されるまでの間、

ならびに 1 枚のみの画像形成が指示された場合には、用紙 P が転写領域に搬送されるまでの間と用紙 P が転写領域を通過された後、感光体ドラム 106 a の回転が停止されるまでの間、転写領域において、「現像スリーブと感光体ドラムの間の電位差」が画像形成時よりも大きくなるように、例えば高压回路 32 から出力される帯電電圧 V_0 の大きさを制御回路 31 の制御により増大させ、同時に高压回路 32 から転写装置 106 c に印加される転写バイアス電圧をオフとすることで、感光体ドラム 106 a を用いて磁性体粉を吸着（回収）し、用紙 P に転写されることのないよう、例えばクリーナ 106 e に回収して除去できる。

例えば、現像スリーブ 12 に提供される現像バイアス電圧を -500 V 、感光体ドラム 106 a に付与される表面電位を -625 V とし、非画像形成時には、感光体ドラム 106 a に付与される表面電位が -800 V になるよう、制御回路 31 の制御により高压回路 32 から出力される帯電電圧 V_0 および制御電圧 V_c を変化させることで、感光体ドラム 106 a に付着している磁性体粉は、感光体ドラム 106 a に吸着されたままクリーナ 106 e と対向するクリーニング位置まで搬送されるので、クリーナ 106 e により磁性体粉を回収できる。なお、磁性体粉を回収することのできる感光体ドラム 106 a の表面電位と現像装置 107 の現像スリーブ 12 に印加される現像バイアス電圧 V_D との間の電位差は、この発明の感光体ドラムとトナーの組み合わせでは、概ね 200 V 以上、より好ましくは、画像出力時に用いられる現像バイアス電圧と表面電位との電位差の 2 倍以上であればよい。当然、感光体ドラムとトナーの組み合わせにより、最適な電位差が多数存在することはいうまでもない。

なお、転写装置 106 c のケース [ハウジング] の容積を大きくして、または転写装置のケースから専用の回収部への通路を確保して、磁性体粉を転写装置のケースもしくは回収部に回収すれば、転写装置 106 c に印加される転写バイアス電圧の大きさを変化する必要はなくなる。

FIG. 6 は、この発明の作像方法を用いた所定回数の画像形成時の出力画像のかぶり濃度の変化と周知の作像方法による所定回数の画像形成時の出力画像のかぶり濃度の変化とを比較したグラフである。

FIG. 6 から明らかなように、2 枚以上の画像出力が指示された場合には、直前の用紙 P と引き続く用紙 P との間の用紙 P が存在していないインターバル（紙間）および用紙 P が転写領域に搬送されるまでの間と用紙 P が転写領域を通過されて感光体ドラム 106a の回転が停止されるまでの間、ならびに 1 枚のみの画像形成が指示された場合には、用紙 P が転写領域に搬送されるまでの間と用紙 P が転写領域を通過されて感光体ドラム 106a の回転が停止されるまでの間、転写領域において、「現像スリーブと感光体ドラムの間の電位差」が画像形成時よりも大きくなるように、例えば高圧回路 32 から出力される帯電電圧 V_o の大きさを制御回路 31 の制御により増大させて、磁性体粉を回収する回収ルーチンを適用することで、画像形成が継続して繰り返されたとしても、かぶり濃度が増大しない良好な出力画像を得ることができる。

以上説明したようにこの発明の作像方法では、トナーに外添された磁性体粉がトナーから離脱して感光体ドラムに付着したとしても、非画像形成時に、磁性体粉を回収できるので、画像形成が継続して繰り返されたとしても、かぶり濃度が増大することを抑止できる。

Additional advantages and modifications will readily occur to those skilled in the art. Therefore, the invention in its broader aspects is not limited to the specific details and representative embodiments shown and described herein. Accordingly, various modifications may be made without departing from the spirit or scope of the general inventive concept as defined by the appended claims and their equivalents.

1. 潜像に可視化剤を供給して画像を形成する装置 comprising :

可視化剤、磁性体粉が所定比率で混入されている樹脂材料であり、磁性体粉が外表面にも付着されている；

記録媒体搬送機構、潜像保持体に選択的に付着された上記可視化剤を保持する記録媒体を搬送可能；

第1の電圧供給装置、潜像保持体を所定の電位に帯電させるための第1の電圧を出力可能、かつ潜像保持体を所定の電位に帯電させるための上記第1の電圧と異なる第2の電圧を出力可能；

第2の電圧供給装置、前記可視化剤が潜像保持体に選択的に付着するための条件として上記第1の電圧および上記第2の電圧のいずれとも大きさの異なる第3の電圧を出力可能； and

回収装置、上記可視化剤から離脱した上記磁性体粉を、前記第2の電圧供給装置により提供される上記第3の電圧と前記第1の電圧供給装置により提供される上記第2の電圧との電位差により上記潜像保持体に付着された前記可視化剤から離脱した上記磁性体粉を回収可能。

2. 画像を形成する装置 according to claim 1,

前記第1の電圧供給装置が上記第2の電圧を出力できる条件は、前記記録媒体搬送機構により上記記録媒体が搬送されていない所定時間に限られる。

3. 画像を形成する装置 according to claim 1,

前記第1の電圧供給装置により上記第2の電圧が出力されることで前記第2の電圧供給装置から供給される上記第3の電圧と前記第1の電圧供給装置から供給される上記第1の電圧との差が増大される。

4. 画像を形成する装置 according to claim 2,

前記回収装置は、前記第1の電圧供給装置により上記第2の電圧が出力されることで、前記可視化剤から離脱して上記潜像保持体に吸着された上記磁性体粉を回収する。

5. 画像を形成する装置 according to claim 3,

前記回収装置は、前記第1の電圧供給装置により上記第2の電圧が出力されることで、前記可視化剤から離脱して上記潜像保持体に吸着された上記磁性体粉を回収する。

6. 画像を形成する装置 according to claim 4, further comprising:

可視化剤転写機構: 上記潜像保持体およびその潜像保持体に付着している前記可視化剤に上記第1ないし第3の電圧のいずれとも異なる第4の電圧を提供して前記記録媒体搬送機構により搬送される上記記録媒体に、前記潜像保持体に付着している前記可視化剤を引き寄せる。

7. 画像を形成する装置 according to claim 6,

前記可視化剤転写機構は、前記可視化剤から離脱した上記磁性体粉を保持可能な容積を有する。

8. 画像形成装置 comprising:

感光体、所定の電位に帯電された状態で選択的に光が照射されることで、光が照射された露光部と光が照射されていない未露光部との電位差を潜像として保持する；

帯電装置、前記感光体表面に所定の表面電位を付与することのできる第1の電圧と第1の電圧とは異なる第2の電圧を出力可能；

露光装置、前記帯電装置により上記所定の表面電位が与えられた前記感光体に画像情報に対応して強度が変化される光を照射する；

現像装置、前記感光体に所定間隔で対向されたスリーブを有し、このスリーブを介して、磁性体粉が所定比率で混入されている樹脂材料であり磁性体粉が外表面にも付着されているトナーを、前記感光体の表面に搬送して前記感光体に保持されている上記潜像を現像する；

記録媒体搬送機構、前記感光体の上記潜像に前記現像装置から提供された上記トナーを非静電的に保持可能な記録媒体を前記感光体に向けて搬送可能；

転写装置、前記感光体上の上記潜像に前記現像装置から提供された上記トナーを前記記録媒体搬送機構により前記感光体に向けて搬送された上記記録媒体に、静電的に引き寄せる；

記録媒体排出機構、前記転写装置により前記感光体から上記トナーが静電的に引き寄せられた上記記録媒体を所定の位置に向けて搬送する；

現像バイアス電圧供給装置、前記帯電装置から前記感光体に印加される上記第 1 の電圧に対して所定の電位差となる第 3 の電圧を前記現像装置の上記スリーブに提供可能；

電圧制御回路、前記転写装置により前記記録媒体搬送機構を介して搬送されている上記記録媒体への上記トナーの静電的な引き寄せが行われない所定時間の間、前記現像バイアス電圧供給装置から前記現像装置の上記スリーブに提供される上記第 3 の電圧と上記第 2 の電圧との間の電位差が、上記第 1 の電圧と上記第 3 の電圧との電位差よりも大きくなるよう、前記帯電装置から前記感光体に付与される電圧を上記第 1 の電圧から上記第 2 の電圧に変更可能； and

回収装置、上記トナーから離脱して前記感光体上に存在する上記磁性体粉を、回収可能。

9. 画像形成装置 according to claim 8,

前記電圧制御回路により上記第 3 の電圧と上記第 2 の電圧との間の電位差が上記第 1 の電圧と上記第 3 の電圧との電位差よりも大きくなるよう、前記帯電装置から前記感光体に付与される電圧を上記第 1 の電圧から上記第 2 の電圧に変更される時間は、2 枚以上の画像出力が指示された場合には、先行して搬送されている上記記録媒体と引き続いて搬送される上記記録媒体との間および上記記録媒体が前記転写装置と前記感光体とが対向されている転写領域に搬送されるまでの間ならびに上記記録媒体が上記転写領域を通過された後、前記感光体の回転が停止されるまでの間、ならびに 1 枚のみの画像形成が指示された場合には、上記記録媒体が上記転写領域に搬送されるまでの間と上記記録媒体が上記転写領域を通過された後、前記感光体の回転が停止されるまでの間である。

10. 画像形成装置 according to claim 8,

前記転写装置は、前記感光体および前記感光体に付着している上記トナーに上記第 1 ないし第 3 の電圧のいずれとも異なる第 4 の電圧を提供して前記記録媒体搬送機構により搬送される上記記録媒体に、前記感光体に付着している上記トナーを引き寄せる。

11. 画像を形成する装置 according to claim 10,

前記転写装置は、上記トナーから離脱した上記磁性体粉を保持可能な容積を有する。

12. 潜像に可視化剤を供給して画像を形成する画像形成方法, comprising :

光半導体に所定の電位を与えて画像に対応する光を選択的に照射して潜像を形成し;

所定の現像バイアス電圧を与えながら、現像装置により光半導体に形成された潜像に選択的にトナーを吸着させ; a n d

記録媒体へのトナーの転写時以外の、記録媒体が光半導体と転写装置との間の転写領域に存在しない所定の時間の間、現像バイアス電圧と光半導体を与える電位との間の電位差よりも電位差が大きくなるように、光半導体を与える電位を増大して、光半導体に付着しているトナーに一体的に付加されている磁性体粉が離脱した磁性体粉を所定の回収部に回収する。

13. 画像形成方法 according to claim 12,

前記磁性体粉は、光半導体により所定の回収部まで搬送される。

Abstract of the Disclosure

この発明の画像形成装置は、記録媒体が光半導体と転写装置との間の転写領域に存在しない所定の時間の間、光半導体に与える電位を、現像バイアス電圧と光半導体に与えられる電位との間の電位差よりも電位差が大きくなるよう増大することで、離脱した磁性体粉を回収部に回収することが可能である。

0904633.092801